

## 定性的なアウトカムを設定している事業について

行政事業レビューについては、EBPMの手法を取り入れ、より効果的な政策の立案に活かせるよう、本年3月に抜本的な見直しが行われ、定性的なアウトカムを設定している事業については、外部有識者の点検を受けることとされています。

このため、今回の「令和5年度消費者庁行政事業レビュー外部有識者会合 政策評価有識者懇談会 合同会合」並びに先般開催いたしました「令和5年度消費者庁行政事業レビュー 公開プロセス」において有識者の皆様にご確認いただいた事業を除き、定性的なアウトカムを設定している18事業について、定性的なアウトカムを設定している理由の適切さについて、事務局で整理した類型ごとにご確認をお願いさせていただきます。

なお、類型化に当たっては、一つの事業の中で性質の異なる複数のアクティビティ（制度改正と普及啓発など）を実施しているものがあることから、基本的にはアクティビティごとに類型化しています。このため、以下の整理では、一つの事業で複数の類型に該当するものがあります。

（参考）行政事業レビューシート作成要領（内閣官房行政改革推進本部事務局）（抜粋）

### 2. レビューシートの記載

「アウトカム設定 についての説明」 欄	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「定性的なアウトカムを設定している理由」欄には、当該アクティビティがどのような事情によって定量的なアウトカムを設定できないかを記載する（理由については設定初年度に、進捗状況についてはその状況に応じて、外部有識者の点検を受けることになる）。</li> <li>○ 「アウトカムが複数設定できない理由」欄には、当該アクティビティがどのようなロジックによって単一のアウトカム設定としているのかを記載する（設定の妥当性については、設定初年度に行政事業レビュー推進チームの点検を受けることになる）。</li> </ul>
---------------------------	--

## 1. 後続の事業・アクティビティ実施のための調査等の情報収集を行うもの

### 〔該当事業〕

- ・ 法人等による寄附の不当な勧誘の防止等に関する法律の執行等
- ・ 食品表示制度の検討・担保
- ・ 食品表示制度(保健機能食品制度等を除く。)の適正化・充実
- ・ 消費者意識・行動等の調査・分析及び消費者白書作成・報告
- ・ 消費者行政に係る国際的な連携の強化
- ・ 生活関連物資等の価格等の把握

### 〔定量的なアウトカムを設定できない理由〕

アクティビティの効果は後続の事業・アクティビティの結果として発現するものであり、当該アクティビティ自体ではアウトプット、初期アウトカムまでしか設定することができず、後続の事業・アクティビティを踏まえ、中期アウトカム、長期アウトカムを設定する場合も抽象的・定性的な記載にならざるを得ない。

〔具体例：食品表示制度の検討・担保〕

活動内容① (アクティビティ)	食品表示制度の時代に即した見直しを行うに当たっては、消費者の制度に対する理解度等を調査し、その結果を分析することで、食品表示法等の関係法令やガイドライン等の定着状況を把握するとともに、消費者の食品表示に対するニーズを把握することが必要であるため、これらのデータを得るための「食品表示に関する消費者意向調査」を実施する。 なお、本調査は、消費者基本計画工程表(令和2年7月消費者政策会議決定)において、各種施策の効果を測定するための指標として位置付けられており、継続的に実施する必要があります。								
↓									
活動目標及び活動実績① (アウトプット)	活動目標	活動指標	活動実績	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
	「食品表示に関する消費者意向調査」を実施	実施回数	回	回	1	1	1	-	-
			当初見込み	回	1	1	1	1	1
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	本事業は、「食品を摂取する際の安全性の確保及び消費者の自主的かつ合理的な商品の選択の機会を確保を図る」ために、時代に即した食品表示制度を企画・立案・運用することを目的とする事業であり、その効果はまずは「制度の改正」として発現するものである。							
成果目標及び成果実績①-1 (短期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標	成果実績	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 年度	
	時代に即した食品表示制度の見直し		目標値	%	-	-	-	-	
			達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	食物アレルギー表示制度の特定原材料(義務表示品目)への「くのみ」の追加 「食品添加物の不使用者表示に関するガイドライン」の作成・公表 「インターネット販売における食品表示の情報提供に関するガイドブック」を公表								
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	本事業は最終的には、食品表示制度の適正化・充実によって一般消費者の利益の増進を図るものであるが、適正化のための課題は時代によって刻一刻と変化している。安定的で適正な制度とするためには、柔軟に課題を見極めるとともに、この変化する政策ニーズに即応し、本事業実施の結果、消費者により受け入れられる制度とすることが求められている。 食品表示制度を、消費者の政策ニーズを踏まえた、時代に即した制度に見直すことにより、見直された食品表示の消費者の認知度が高まり、消費者の本制度の活用が拡大されることが見込まれると考えられるため、食品表示制度の認知度を中期アウトカムとした。							
成果目標及び成果実績①-2 (中期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標	成果実績	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 年度	
	食品表示制度の認知度を向上させる。	食品表示制度の消費者の認知度	目標値	%	69.5	62.8	60	-	
			達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	食品表示に関する消費者意向調査報告書(消費者庁調べ)								
↓	成果目標①-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)	本制度が「消費者の政策ニーズを踏まえた、時代に即した制度になっている」とすれば、消費者の使用性も高まることになり、①-2の「消費者の認知度向上による活用拡大」も相まって、消費者の本制度への満足度向上につながると考えられるため、食品表示制度の満足度を長期アウトカムとした。 これは、食品表示制度の最終的な目的である、「食品を摂取する際の安全性の確保及び自主的かつ合理的な食品の選択の機会を確保に関し重要な役割を果たしている食品表示制度の適正を確保し、もって一般消費者の利益の増進を図る」ことの指標として相応しいものである。							
成果目標及び成果実績①-3 (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標	成果実績	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 年度	
	食品表示制度の満足度を向上させる。	食品表示制度の消費者の満足度	目標値	%	-	-	-	-	
			達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	食品表示に関する消費者意向調査報告書(消費者庁調べ) ※来年度以降目標値を記載(消費者意向調査に反映)								
アウトカム設定について の説明	アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
	(①-1の成果目標が定性的なアウトカムとして設定している理由について) 本事業は、「食品を摂取する際の安全性の確保及び消費者の自主的かつ合理的な商品の選択の機会を確保を図る」ために、時代に即した食品表示制度を企画・立案・運用することを目的とする事業であり、その効果はまずは「制度の改正」として発現するものである。一方で、本制度改正において重要なことは、その改正した数ではなく、消費者のニーズに応え得る改正が行えたかであることから、「制度の改正回数」を定量的な目標として設定することは相応しくない。								
	アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								

## 2. 制度の安定的運用や見直しが目的とされているもの

〔該当事業〕

- ・ 消費者契約に関する制度の企画立案
- ・ 生活関連物資等の価格等の把握

〔定量的なアウトカムを設定できない理由〕

- ・ 本事業は、将来的には社会的課題への制度的・政策的な対応を行うことを予定しているところ、定量的な成果指標の設定は困難であるため。【消費者契約に関する制度の企画立案】

〔具体例：生活関連物資等の価格等の把握〕

活動内容④ (アクティビティ)	公共料金等の改定等に際して、物価問題に関する関係関係会議への付議や所管省庁との協議において、消費者に与える影響を十分に考慮すべく所要の調整を行う。								
↓									
活動目標及び活動実績 ④ (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
	公共料金等の改定等の際の協議等	協議等件数	活動実績	件	10	9	25	-	-
			当初見込み	件	-	-	-	30	-
↓	成果目標④-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	公共料金等の改定に際しては、従来より決定過程の透明性、消費者参画の機会、料金の適正性の3点が確保されているかを確認しているが、令和4年8月に発出した「公共料金等の新規設定や変更の協議に当たっての消費者庁における主なチェックポイント」により関係府省庁宛に明示し、対応している。							
成果目標及び成果実績 ④-1 (短期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 年度	
	決定過程の透明性、消費者参画の機会、料金の適正性が確保された公共料金等の改定等の実施	公共料金等の改定件数	成果実績	件	10	9	25		
			目標値	件	10	9	25		
達成度			%	100	100	100	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	消費者庁への協議等がなされた公共料金等の件数								
↓	成果目標④-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	決定過程の透明性、消費者参画の機会、料金の適正性が確保されているかを確認することによって、消費者利益の擁護・増進を図る。							
成果目標及び成果実績 ④-2 (中期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 年度	
			成果実績						
			目標値						
達成度			%	-	-	-	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績									
↓	成果目標④-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)								
成果目標及び成果実績 ④-3 (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 年度	
	消費者利益の擁護・増進		成果実績						
			目標値						
達成度			%	-	-	-	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	公共料金等の改定等に当たって、消費者の視点から、決定過程の透明性、消費者参画の機会、料金の適正性が確保されているかを確認することができており、消費者利益の擁護・増進に寄与している。								
アウトカム設定について の説明	アクティビティ④について定性的なアウトカムを設定している理由								
	決定過程の透明性、消費者参画の機会、料金の適正性が確保された公共料金等の改定となっているか、所管省庁からの協議という形で消費者の視点から確認し、消費者利益の擁護・増進を図るものであり、定量的な目標設定にはなじまない。								
	アクティビティ④についてアウトカムが複数設定できない理由								

### 3. 執行業務

#### 〔該当事業〕

- ・ 法人等による寄附の不当な勧誘の防止等に関する法律の執行等
- ・ 消費者取引の対策
- ・ インターネット通信販売等適正化事業
- ・ 表示適正化のための普及・啓発等
- ・ 消費税価格表示事件調査

#### 〔定量的なアウトカムを設定できない理由〕

- ・ 本事業の目的は、事業者が特定商取引法及び預託法を順守すること等により、公正な取引の確保及び消費者被害の防止が図られることであるが、公正な取引の確保及び消費者被害の防止の程度を定量的に示す指標を設定することは困難である。【消費者取引の対策】
- ・ 結果としてどの程度の不当表示が実際に未然に防止されたかどうかを測定することは困難であり、また、本アクティビティとの直接の因果関係を確認することも困難であることから、講演会等に参加した事業者等の理解度等、代替的な数値で定性的に効果を把握せざるを得ず、定量的なアウトカムを設定することは困難である。【表示適正化のための普及・啓発等】

〔具体例：表示適正化のための普及・啓発等〕

活動内容① (アクティビティ)	事業者団体、消費者団体及び地方公共団体等が主催する景品表示法等に関する講演会等に講師派遣を行い、同法等の普及啓発活動を行う。								
↓									
活動目標及び活動実績① (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
	景品表示法等に関する講演会等へ講師を派遣するなどして、同法等の普及啓発を行う。	講師派遣件数	活動実績	件数	76	101	172		
当初見込み			-	-	-	-			
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	参加者にとって分かりやすい講演会等が実施される。							
成果目標及び成果実績①-1 (短期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 年度	
	講演会等の参加者が、景品表示法等について理解する。	講演会等参加者の講演内容の理解度	成果実績	-	83	84	97	-	
			目標値	-	100	100	100	-	
達成度			%	83	84	97	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	講演会等の参加者から提出された講演内容についてのアンケート結果によれば、令和4年度に実施した講演会等の内容について、参加者の高い理解度が得られた。								
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	講演会等へ参加した事業者が、自らの商品・サービスについての表示において不当表示が発生しないよう、講演内容について活用することにより、違反行為の未然防止が図られる。							
成果目標及び成果実績①-2 (中期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 年度	
	講演会等へ参加した事業者が、自らの商品・サービスについての表示において不当表示が発生しないよう、講演内容について活用することにより、違反行為の未然防止が図られる。	講演会参加者の未然防止への活用度	成果実績	-	-	-	86	-	
			目標値	-	-	-	100	-	
達成度			%	-	-	86	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	講演会等の参加者から提出された講演内容についてのアンケート結果によれば、令和4年度に実施した講演会等の内容について、参加者から、自らの商品・サービスについての表示において不当表示が発生しないよう活用できる内容であったとの評価(高い活用度)が得られた。								
↓	成果目標①-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)	講演会等によって、参加者が景品表示法等について理解するとともに、理解した内容を自らの商品・サービスについての表示における違反行為の未然防止に活用することにより、消費者利益が確保される。							
成果目標及び成果実績①-3 (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 年度	
	講演会等によって、参加者が景品表示法等について理解するとともに、理解した内容を自らの商品・サービスについての表示における違反行為の未然防止に活用することにより、消費者利益が確保される。	-	成果実績	-	-	-	-	-	
			目標値	-	-	-	-	-	
達成度			%	-	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	講演会等の内容について、理解度及び活用度ともに高い評価が得られ、景品表示法等の普及啓発の点から消費者利益の確保に努めた。								
アウトカム設定について の説明	アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
	景品表示法等は、あらゆる商品・サービスが対象とされ、商品・サービスを供給する全ての事業者(国民)は同法等の遵守が求められている。このため、本アクティビティによって、事業者(及び消費者)の同法等についての理解を深めていくことは不当表示の未然防止に当然に資するものである。ただし、結果としてどの程度の不当表示が実際に未然に防止されたかどうかを測定することは困難であり、また、本アクティビティとの直接的因果関係を確認することも困難であることから、講演会等に参加した事業者等の理解度等、代替的な数値で定性的に効果を把握せざるを得ず、定量的なアウトカムを設定することは困難である。								
アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由									

#### 4. 定量的な指標設定のための調査が困難なもの

##### 〔該当事業〕

- ・ 新たなインターネット技術・サービスに係る消費者トラブルの動向調査
- ・ 消費者契約に関する制度の企画立案
- ・ 消費者財産被害対応
- ・ 消費生活相談機能強化促進等補助金
- ・ 食品安全に関するリスクコミュニケーション等の推進
- ・ 消費者意識・行動等の調査・分析及び消費者白書作成・報告
- ・ 消費者行政に係る国際的な連携の強化
- ・ 公益通報者保護制度の推進

##### 〔定量的なアウトカムを設定できない理由〕

- ・ 消費者契約法は民事ルールであることから、契約の取消しや不当条項の無効といった活用実績を網羅的に把握することができず、また、事業者の意識向上や消費者のリテラシー向上には予防効果もあることから、定量的な成果目標を設定することが困難であるため。【消費者契約に関する制度の企画立案】
- ・ 情報提供先となる都道府県等によって消費者被害の発生又は拡大の防止のための対応は様々であることから、一律の指標を設定することは困難である。また、当該都道府県等による対応の程度を定量的に示す指標を設定することは困難である。【消費者財産被害対応】
- ・ 福島県産食品の購入をためらう人の割合低下が、消費者の行動変化にどのように反映されたかは、定量的な評価になじまないため。【食品安全に関するリスクコミュニケーション等の推進】

〔具体例：消費者財産被害対応〕

<p><b>活動内容②</b> (アクティビティ)</p>	<p>消費者安全法の規定に基づく措置を講ずることが相当と考えられる消費者事故等において、民間サービス等の利用や被害者等からの事情聴取や報告徴収等の調査を行って、正確かつ詳細な情報入手し、当該情報を元に、消費者事故等を生じさせた事業者名を含むその態様等を公表して消費者への注意喚起等を行う。</p>																										
↓																											
<p><b>活動目標及び活動実績②</b> (アウトプット)</p>	<p>活動目標 消費者事故等の態様等を公表して消費者への注意喚起等を行う</p>	<p>活動指標 消費者安全法の規定に基づく措置(注意喚起等)の実施件数</p>	<table border="1"> <tr> <td>活動実績</td> <td>件</td> <td>34</td> <td>22</td> <td>26</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>当初見込み</td> <td>件</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>-</td> </tr> </table>	活動実績	件	34	22	26	-	-	当初見込み	件	10	10	10	10	-	<p>単位</p>	<p>令和2年度</p>	<p>令和3年度</p>	<p>令和4年度</p>	<p>5年度 活動見込</p>	<p>6年度 活動見込</p>				
活動実績	件	34	22	26	-	-																					
当初見込み	件	10	10	10	10	-																					
<p>↓</p> <p>成果目標②-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)</p>	<p>消費者事故等の態様等を公表して消費者への注意喚起等を行うとともに、当該消費者事故等に関する情報を都道府県等に情報提供することで、消費者、都道府県等に注意喚起等の内容を認知させる。</p>																										
<p><b>成果目標及び成果実績②-1</b> (短期アウトカム)</p>	<p>成果目標 消費者、都道府県等の認知</p>	<p>定量的な成果指標 消費者庁ウェブサイトの財産分野の注意喚起等(消費者安全法に基づくもの)ページのアクセス数</p>	<table border="1"> <tr> <td>成果実績</td> <td>件</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>件</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>%</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>	成果実績	件	-	-	-	-	目標値	件	-	-	-	-	達成度	%	-	-	-	-	<p>単位</p>	<p>令和2年度</p>	<p>令和3年度</p>	<p>令和4年度</p>	<p>目標年度 1年度</p>	
成果実績	件	-	-	-	-																						
目標値	件	-	-	-	-																						
達成度	%	-	-	-	-																						
<p><b>成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績</b></p>	<p>令和5年度から新規に消費者庁ウェブサイトの財産分野の注意喚起等(消費者安全法に基づくもの)ページのアクセス数の調査を行うこととしており、成果目標及び目標値の根拠として用いた統計・データはない。 また、都道府県等に対しては、消費者安全法の規定に基づく情報提供をすることで認知させる。</p>																										
<p>↓</p> <p>成果目標②-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)</p>	<p>都道府県等に注意喚起等の内容を認知させることで、当該都道府県等において注意喚起等の情報の周知・啓発等、消費者被害の発生又は拡大の防止のための対応を図る。</p>																										
<p><b>成果目標及び成果実績②-2</b> (中期アウトカム)</p>	<p>成果目標 都道府県等による消費者被害の発生又は拡大の防止のための対応</p>	<p>定量的な成果指標</p>	<table border="1"> <tr> <td>成果実績</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>%</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>	成果実績	-	-	-	-	-	目標値	-	-	-	-	-	達成度	%	-	-	-	-	<p>単位</p>	<p>令和2年度</p>	<p>令和3年度</p>	<p>令和4年度</p>	<p>目標年度 -年度</p>	
成果実績	-	-	-	-	-																						
目標値	-	-	-	-	-																						
達成度	%	-	-	-	-																						
<p><b>成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績</b></p>	<p>情報提供先となる都道府県等に対しては、当該都道府県等が周知・啓発等、消費者被害の発生又は拡大の防止のために適切な対応を図ることができるよう、消費者事故等の態様等を速やかに情報提供している。</p>																										
<p>↓</p> <p>成果目標②-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)</p>	<p>都道府県等においても対応が図られることで、注意喚起等を行った消費者事故等と同種又は類似の事案における消費者被害を減少させる。</p>																										
<p><b>成果目標及び成果実績②-3</b> (長期アウトカム)</p>	<p>成果目標 消費者への注意喚起等を行った消費者事故等と同種又は類似の事案における消費者被害の減少</p>	<p>定量的な成果指標</p>	<table border="1"> <tr> <td>成果実績</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>%</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>	成果実績	-	-	-	-	-	目標値	-	-	-	-	-	達成度	%	-	-	-	-	<p>単位</p>	<p>令和2年度</p>	<p>令和3年度</p>	<p>令和4年度</p>	<p>目標最終年度 -年度</p>	
成果実績	-	-	-	-	-																						
目標値	-	-	-	-	-																						
達成度	%	-	-	-	-																						
<p><b>成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績</b></p>	<p>これまで消費者への注意喚起等を行った消費者事故等の態様は様々であり、注意喚起等の対象となった事案に加え、これと同種又は類似の事案における消費者被害を減少させるために、被害の拡大状況や手口の悪質・巧妙性等に応じて、速やかにかつ機動的に消費者への注意喚起等を行っている。</p>																										
<p><b>アウトカム設定についての説明</b></p>	<p>アクティビティ②について定性的なアウトカムを設定している理由</p>																										
	<p>【中期アウトカム】 情報提供先となる都道府県等によって消費者被害の発生又は拡大の防止のための対応は様々であることから、一律の指標を設定することは困難である。また、当該都道府県等による対応の程度を定量的に示す指標を設定することは困難である。このため、定性的なアウトカムを設定している。 【長期アウトカム】 消費者への注意喚起等を行った消費者事故等の態様は様々であることから、一律の指標を設定することは困難である。また、消費者への注意喚起等を行った消費者事故等と同種又は類似の事案における消費者被害の減少の程度を定量的に示す指標を設定することは困難である。このため、定性的なアウトカムを設定している。</p> <p style="text-align: center;">アクティビティ②についてアウトカムが複数設定できない理由</p>																										

## 5. 複数の事業を束ねる施策パッケージ

### 〔該当事業〕

- ・ 消費者政策企画・立案
- ・ 地方消費者行政強化交付金

### 〔定量的なアウトカムを設定できない理由〕

- ・ 本事業は、消費者政策に関する様々な目標達成を目指す施策の進捗管理や推進を図る事業であることから、単一の定量指標をもって成果を測ることは困難であるため。【消費者政策企画・立案】
- ・ 地方消費者行政の充実・強化のための交付金等を通じた当面の政策目標として「地方消費者行政強化作戦 2020」を定め、毎年度その進捗等を把握している。同強化作戦では、複数の具体的・定量的な政策目標を掲げているが、その全体の動きを本シートの枠内で記載するのが困難であることからやむを得ず定性的なアウトカムとしている。なお、具体的な進捗状況については、以下の URL から確認可能である。【地方消費者行政強化交付金】  
[https://www.caa.go.jp/policies/policy/local\\_cooperation/local\\_consumer\\_administration/](https://www.caa.go.jp/policies/policy/local_cooperation/local_consumer_administration/)

〔具体例：消費者政策企画・立案〕

活動内容① (アクティビティ)	消費者基本計画に基づき、消費者政策を検証可能な形で体系的・包括的に推進するため、具体的な施策の工程表を策定している。									
↓										
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
	毎年の消費者基本計画工程表の見直し	消費者基本計画工程表を見直した回数	活動実績	回	1	1	1	1	-	
			当初見込み	回	1	1	1	1	1	
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	現行の消費者基本計画工程表を毎年改定することにより、具体的な取組の進捗が明確となることから、工程表に定めた目標の達成に向けた具体的施策の推進につながる。								
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 5年度		
	工程表に定めた目標の達成に向けた 具体的施策の推進	-	成果実績	件	-	-	-	-		
			目標値	件	-	-	-	-		
			達成度	%	-	-	-	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績										
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	工程表に定めた目標の達成に向けた具体的施策を推進することにより、工程表に設定する重点目標の達成につながる。								
成果目標及び成果実績 ①-2 (中期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 5年度		
	工程表に設定する重点目標の達成	-	成果実績	回						
			目標値	回						
			達成度	%						
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績										
↓	成果目標①-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)	工程表に設定する重点目標の達成により、消費者が安心して安全で豊かな消費生活を営むことができる社会の実現が達成される。								
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 5年度		
	消費者が安心して安全で豊かな消費生 活を営むことができる社会の実現	-	成果実績	-	-	-	-	-		
			目標値	-	-	-	-	-		
			達成度	%	-	-	-	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績										
アウトカム設定について の説明	アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由									
	本事業は、消費者政策に関する様々な目標達成を目指す施策の進捗管理や推進を図る事業であることから、単一の定量指標をもって成果を測ることは困難であるため。									
	アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由									